

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	1	・1 F はやや手狭に感じます。 →活動内容によっては2 F の活動室と分散している。
	②	職員の配置数は適切であるか	8			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2	2	・身体障がい児の利用がない。 ・階段がある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	3		・定例会等で話し合いの機会がある。 ・パートの方にはその内容を回覧している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	2		・実態をよく知らないので評価できません。 →ホームページにて公開しているので周知するようにする。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	4		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1		・スケジュールを立て、毎月社内研修を開催している。 ・外部の研修にも積極的に参加している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		・必ず保護者面談を行い、支援計画を作成している。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1		・日々の活動やイベントについて話し合いながら決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		1	・カレンダーで曜日で固定されている。 →活動内容をその日に勤務していない職員にも引継ぎノート等を活用して周知する。 ・イベントやインターンシッププログラム等の活動を取り入れている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・支援計画の中に個別目標、集団活動での目標を記載している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	3		・ミーティングのない時間に勤務のため分からない →引継ぎノートにて伝えている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	3	1	・打ち合わせの機会がない。 →引継ぎノート等で周知している。

⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	2	<ul style="list-style-type: none"><li>・よくなされていると思う。</li><li>・日報にて記録している。</li><li>・支援目標の評価についても支援会議等で情報共有している。</li></ul>
---	--	---	---	---

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1		・必ず最低半年に一回は個別支援計画の見直しをしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6	2		・実際をよく知らず評価できません。 →全職員に活動内容や方針を理解してもらえるように研修の機会を増やす。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		・基本的には児童発達支援管理責任者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	1		・よくやられていると思う。 ・必要な情報共有を各学校と行うようにしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	4		・相談員を通してしている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	2	1	・相談員を通して情報共有をしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1		・発達センターの研修に参加している。 ・訪問研修を依頼している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	1	・毎月子ども食堂を開催している。 ・毎年、地域のお祭りに参加している。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	4	1	・会議に参加した時の報告書が周知できていないので回覧等で必ず確認してもらうようにする。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		・利用者日報のコメント欄に活動の様子を記載している。 ・送迎時に様子を伝えている。 ・必要であれば面談、電話、LINE等でやり取りをしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8			・保護者交流会・勉強会・ペアレントプログラム等を定期的に行っている。
保護者への説明	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			・契約時に説明をしている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			・対面、電話、LINE等でやり取りをしている。 ・必要な内容は引継ぎノートで職員に周知している。

責任等	⑳ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に一回は保護者交流会を開催している。</li> <li>・交流会だけではなく、ランチ会も開催して交流の場を増やしている。</li> </ul>
-----	---	---	--	---

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			・クレーム等に関しては児童発達支援管理責任者が対応をして、その結果を職員に周知している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			・事業所通信を発行している。 ・ホームページ、Facebook、Instagramを活用している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	7	1		・個人ファイルについては必ず鍵付き書庫にて保管するようにしている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		・コミュニケーション手段に配慮をしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1	1	・子ども食堂を月に一回行っている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7		1	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	2	・年二回防災訓練を行っている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		1	・社内研修を毎月開催している。 ・社外研修にも積極的に参加している。 ・年に一回に避難訓練をしてもいいと思う。 →年二回の避難訓練をしているので参加できない職員には報告書にて周知をする。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7		1	
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3	1	・親御さんに聞いてアレルギーがあるか知るだけなのか、書類があるか知らない。 →フェイスシートにて確認しているので、周知をする。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		1	